

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

[平成28年1～3月期の景況／平成28年4～6月期の見通し]

宇部市内における中小企業の業況は、前期より悪化傾向にある

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2016年1～3月期の実績と2016年4～6月の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から▲12.9%の減少となった。業種別では建設業が前回の▲16.7%から▲14.8%とわずかに回復したが、製造業は▲19.0%から▲31.8%、卸売業は0.0%から▲15.8%、小売業は▲9.1%から▲29.4%、サービス業は▲8.7%から▲30.4%へそれぞれ悪化という結果となった。

来期の新規設備投資については、1.9%と微減の見込みとなった。

経営上の問題点については、建設業とサービス業で「従業員の確保難」、卸売業と小売業で「需要の停滞」が上位となった。

DI(デフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

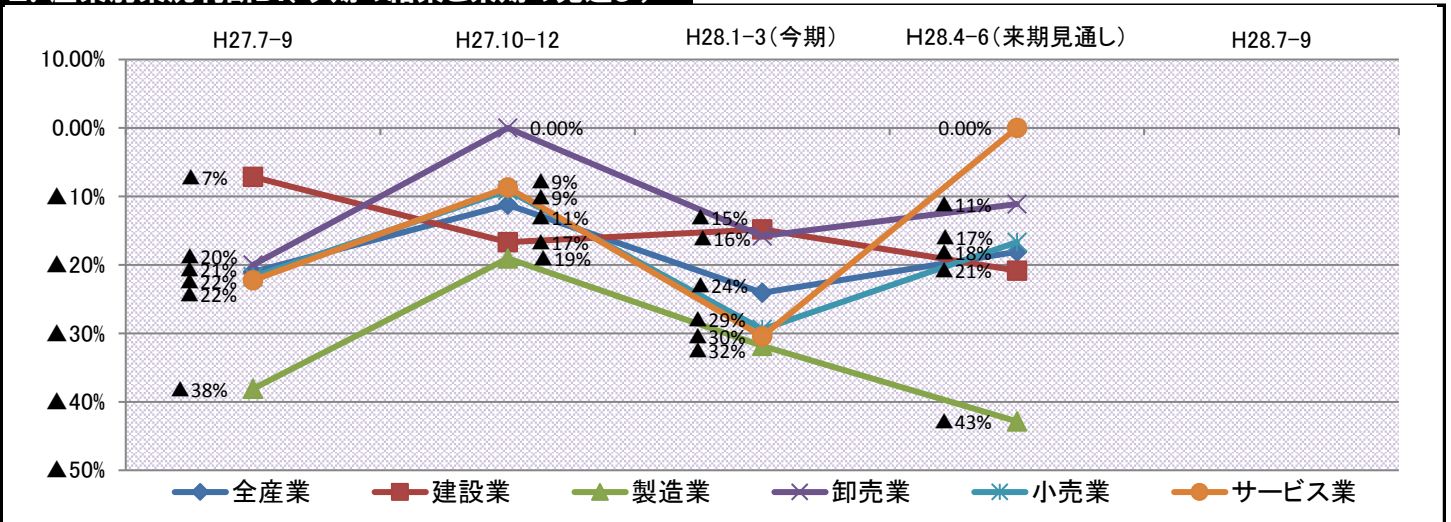
DATE

- 調査期間: 2016年2月26日～3月10日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業145社
- 有効回答企業数: 112社(77.24%)

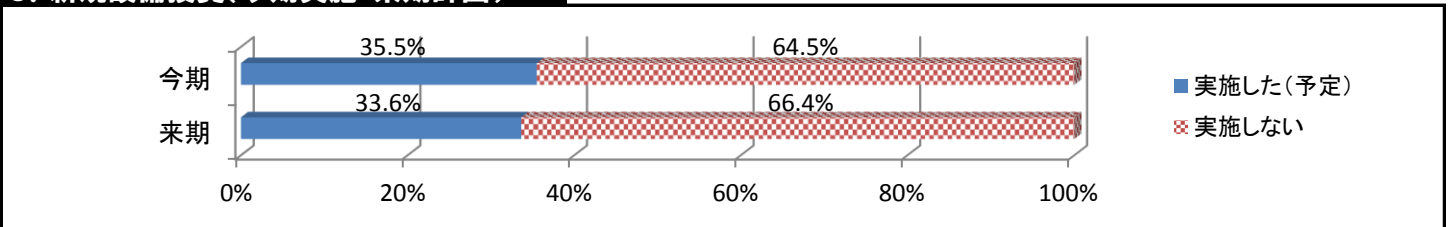
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲24.1%	▲12.9%	▲25.2%	▲15.7%	▲16.7%	▲8.9%	▲31.5%	▲16.1%	7.34%	9.93%
建設業	▲14.8%	1.85%	▲25.9%	▲5.9%	▲15.4%	▲15.4%	▲37.0%	▲20.4%	11.11%	1.11%
製造業	▲31.8%	▲12.8%	▲31.8%	▲27.1%	▲13.6%	▲13.6%	▲36.4%	6.49%	18.18%	3.90%
卸売業	▲15.8%	▲15.8%	▲5.3%	▲5.3%	5.26%	20.26%	▲21.1%	▲21.1%	10.53%	30.53%
小売業	▲29.4%	▲20.3%	▲35.0%	▲17.6%	▲21.1%	6.22%	▲35.0%	▲13.3%	▲5.6%	3.54%
サービス業	▲30.4%	▲21.7%	▲26.1%	▲26.1%	▲36.4%	▲36.4%	▲26.1%	▲30.4%	0.00%	13.04%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 18.4%	製品(加工)単価の低下・上昇難 20.6%	需要の停滞 23.4%	需要の停滞 17.3%	従業員の確保難 15.6%
2位	熟練技術者の確保難 15.8%	需要の停滞 17.5%	人件費の増加 14.9%	仕入単価の上昇 13.5%	利用者ニーズの変化への対応 10.9%
3位	下請業者の確保難 14.5%	原材料価格の上昇 11.1%	販売単価の低下・上昇難 12.8%	消費者ニーズの変化への対応 11.5%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化 10.9%
4位	官公需要の停滞 14.5%	製品ニーズの変化への対応 9.5%	従業員の確保難 12.8%	販売単価の低下・上昇難 9.6%	熟練従業員の確保難 10.9%